資料3

第3回御嶽山噴火に伴う木曽川上流域水質保全対策検討会

会議資料
（牧尾ダムの現状と下流の水質状況）

平成27年2月12日

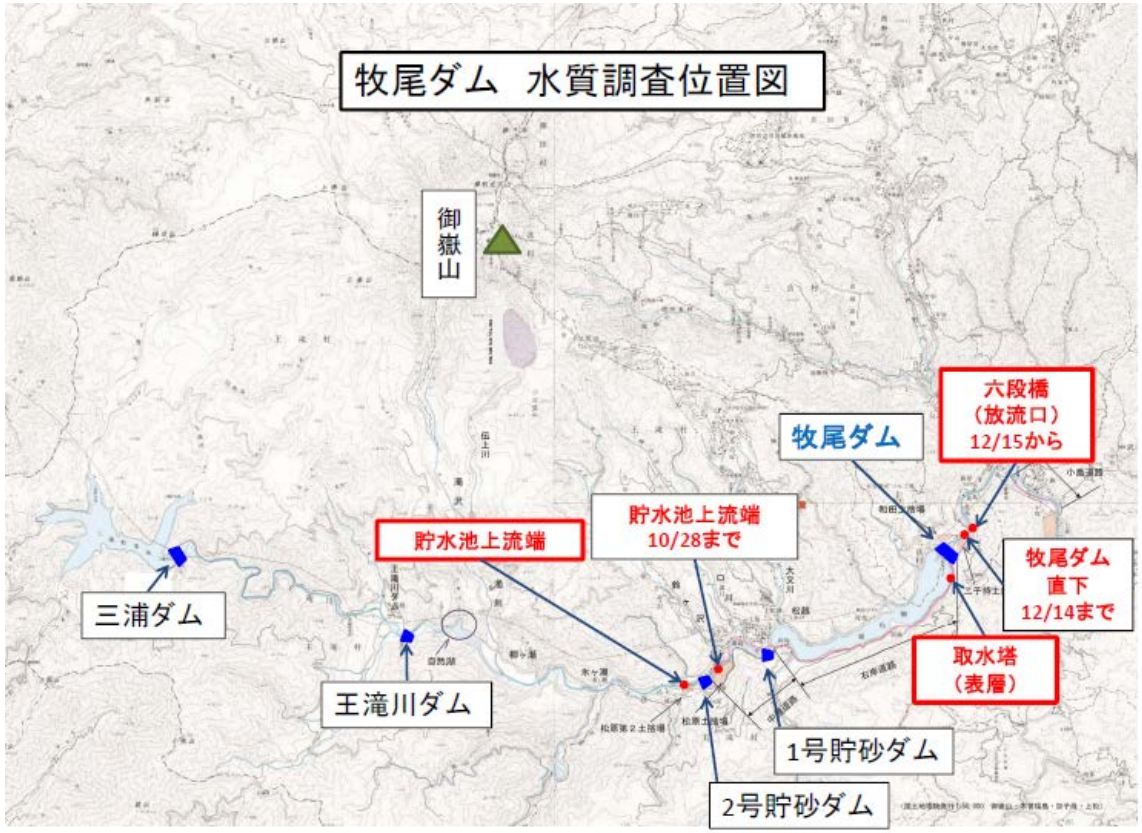
（独）水資源機構中部支社

牧尾ダムの現状と下流の水質状況

①牧尾ダムにおいては、ダム貯水池内において水素イオン濃度（pH）の低下が確認されているが、魚類の斃死などの異常は見られておらず、最近は水素イオン濃度（pH）の回復傾向が見られる。

②牧尾ダムは、現在、平年と同様な利水運用を実施しているが、下流河川における水質上の問題は生じていない。

牧尾ダム他の水質調査位置図



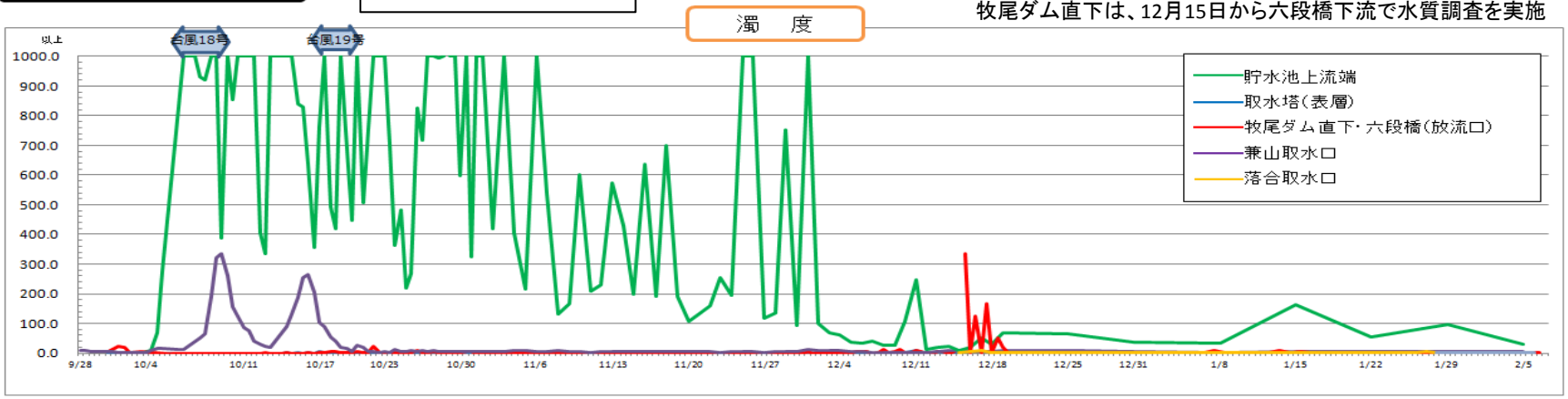
水質調査結果　－濁度－

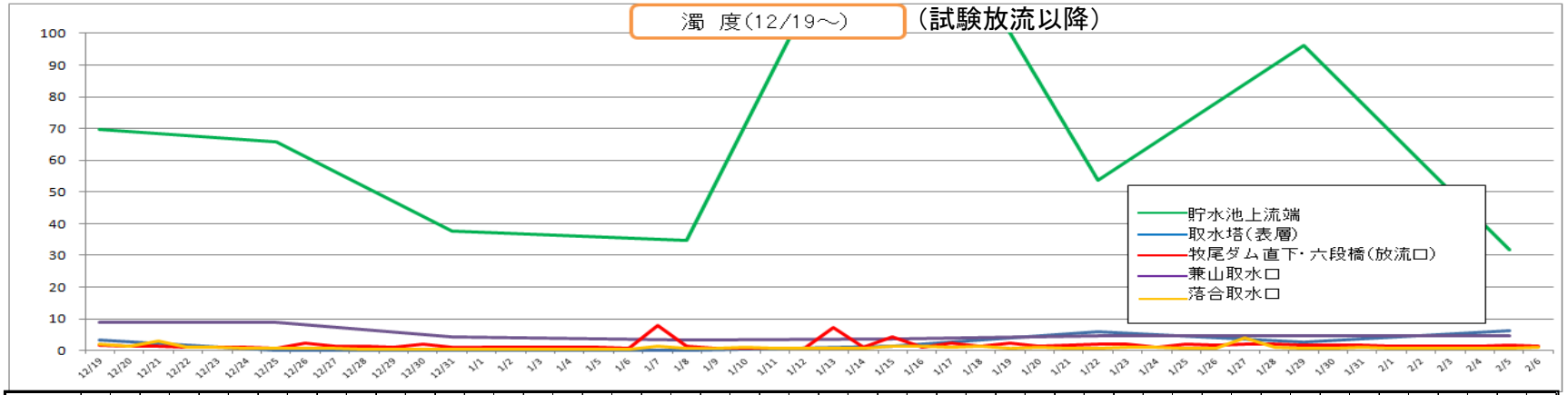
試験放流（12/15-18)以降、貯水池上流端の濁度は降雨等により一時的に高い値を示しているが概ね６０程度で推移しており、六段橋(放流口）では濁度は２程度となっている。
岐阜県が水道用水の取水を行っている下流の落合取水口の濁度は１程度で推移しており、これはＳＳ換算すると１程度となり木曽川本川の環境基準値（２５ｍｇ／Ｌ）を大きく下回っている。

水質調査結果グラフ

※毎日10時データ

※貯水池上流端は、10月29日から松原橋で水質調査を実施
牧尾ダム直下は、12月15日から六段橋下流で水質調査を実施





| | | |

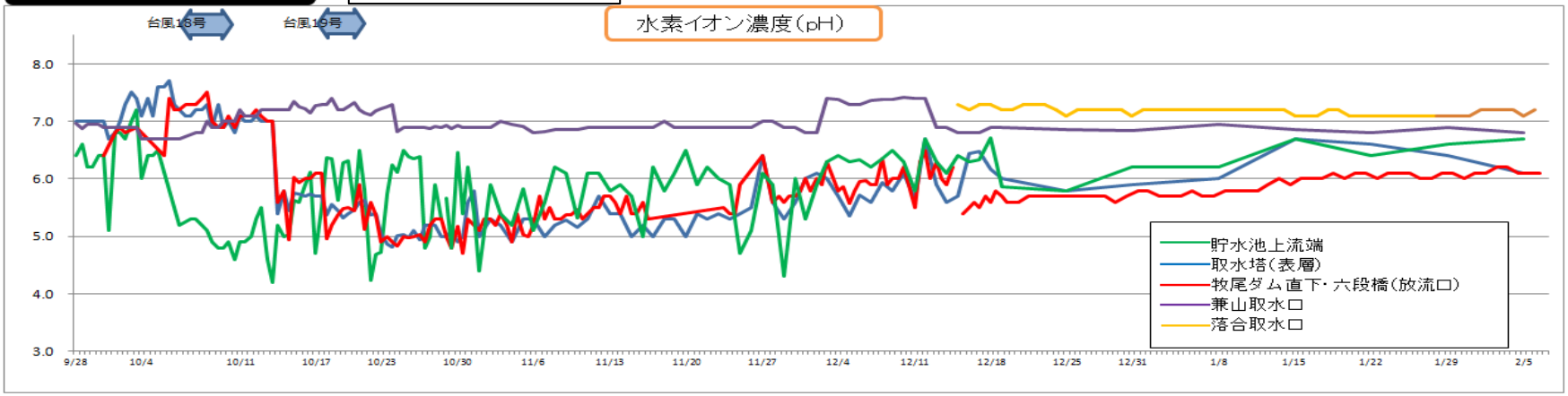
水質調査結果　－水素イオン濃度（pH）－

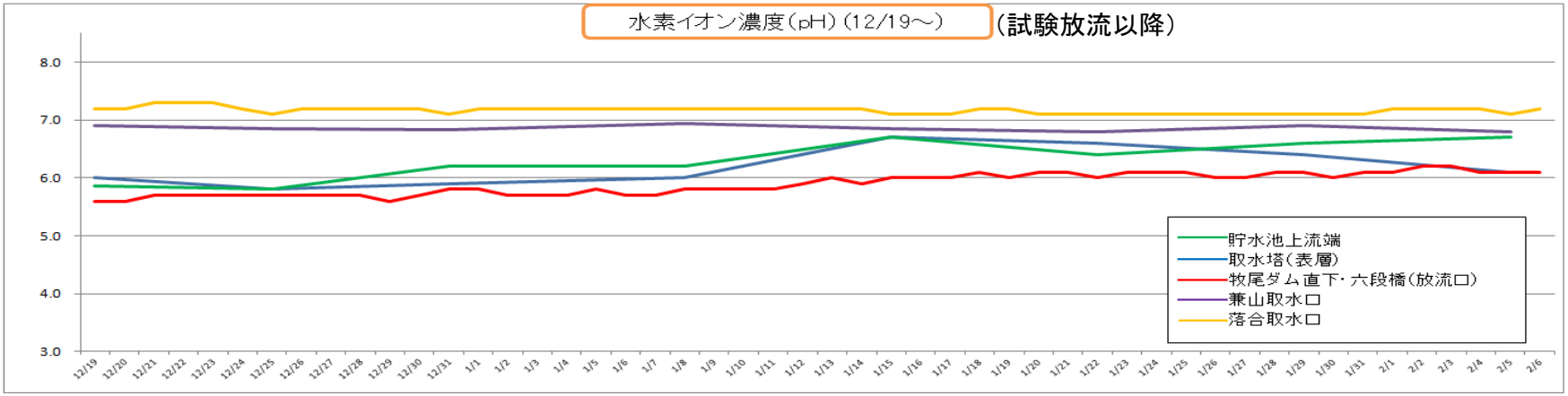
１０月下旬は５程度だった牧尾ダム貯水池の水素イオン濃度（ｐＨ）は、試験放流（12/15-18)以降、６程度で推移しており、貯水池の酸性は緩和されつつある。
岐阜県が水道用水の取水を行っている落合取水口の水素イオン濃度（ｐＨ）は中性である７程度で推移している。

水質調査結果グラフ

※毎日10時データ

※貯水池上流端は、10月29日から松原橋で水質調査を実施
牧尾ダム直下は、12月15日から六段橋下流で水質調査を実施





| | | |